

2025年1月27日

諸教会・伝道所の皆様へお詫び

主の御名を賛美いたします。

諸教会・伝道所の皆様におかれましては、日々の主の働きに励まれ、また総会に向けた準備を進めておられることと存じます。

この度、2024年度日本バプテスト連盟第70回定期総会 議案8「宣教研究所の働きの持続的継承、並びに閉所に関する件」に関し、当研究所が立場表明と参考資料を作成し、諸教会にお知らせした件について、混乱を招く結果となりましたことを心よりお詫び申し上げます。また、1月26日午前8時20分、該当資料の掲載を取り下げたことをご報告いたします。

### 資料発信に至った背景

今回の議案に関して、本研究所といたしましては、理事会との協議が十分でないまま議案化されたとの認識を持っています。また、この点については、11月16日の議案説明会で多くの教会からも指摘がございました。本研究所は、諸教会への説明責任を果たすべきとの立場から、以下の三つの課題に対応するために資料発信を試みました。

#### 1. 協議の透明性の確保

これまでの協議内容を諸教会に明確にお伝えすることが重要であると考えました。実際に、諸教会からも協議の経緯に関する問い合わせが寄せられており、それに応えるために「時系列資料」を作成しました。この資料は、議案化に至る過程を整理し、透明性を高める目的で作成されたものです。

#### 2. 本研究所の立場を明確にする必要性

現時点での本研究所の立場や考えを明確に示すことが、諸教会の議論を深める一助になると考えました。このため、本研究所の立場表明を作成し、諸教会にお知らせすることを決定しました。

#### 3. 事前採決を行う諸教会への情報提供

理事会との協議の中で、本研究所の立場を議案説明の際に明示していただけることになりました。しかし、総会期日前に事前採決を行う諸教会には、こうした情報が伝わらない恐れがあると懸念しました。そのため、事前採決を行う教会が適切な判断を下せるよう、独自の手段で立場表明と参考資料をお知らせすることにしました。

これまで多くの祈りと支えの中で歩んできた本研究所のこれからを考えるにあたり、諸教会が十分な情報をもとに適切な判断を下せることが極めて重要であると考えています。しかしながら、現状では、議案の背景を十分に理解するための情報が不足しているのではないかと懸念がございました。

本研究所としては、今回の資料発信が少しでも透明かつ公正な議論の助けとなることを願っておりましたが、結果として理事会および議長団の意向と一致せず、混乱を招く形となりました。この点を真摯に受け止め、理事会および議長団からのご指摘を受け入れ、速やかに資料の取り下げを行いました。

一連の対応により諸教会の皆様にご迷惑を招きましたことを、改めてお詫び申し上げます。

諸教会におかれましては、引き続きお祈りとご協力を賜りますようお願い申し上げます。主において、協力伝道の働きが進展することを心より願っております。

主において

日本バプテスト連盟宣教研究所  
運営委員会一同